

トマトの輪紋病（病原の追加）

令和2年5月に石狩地方においてミニトマト（台木品種：「グリーンセーブ」）で茎枯れ症状が発生しトマト輪紋病菌に類似した糸状菌が分離された。分離菌およびこれまで *Alternaria solani* Sorauer とされていた輪紋病菌を分子系統解析したところ両菌株とも *A. linariae* (Neerg.) E.G. Simmons と同定された。また形態についても *A. linariae* の特徴と一致した。分離菌、輪紋病菌を用いて病原性を確認したところ、両菌株ともに茎には原病徴、葉には輪紋病に類似した病斑を形成し、接種菌が再分離された。国内では *A. linariae* による病害報告はないため、本種をトマト輪紋病菌の病原として追加する。

（中央農試）



トマトの輪紋病（中央農試 森 原図）